

平成30年度 大阪府立摂津支援学校 第2回 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 平成30年11月 9日(金) 10:00~12:00

2 場 所 本校 会議室〔2階〕

3 出席者 〈学校協議会委員〉

西野 陽一 (大阪工業大学) 大矢 優子 (摂津市教育委員会)

熊谷 達也 (茨木・摂津障害者就業・生活支援センター)

中井 啓夫 (高槻市柱本自治会) 横路 優香 (本校 PTA 会長)

〈摂津支援学校〉

校長 (大峠) 教頭 (川村・南) 事務長(洲本) 首席 (小野・中島)

首席兼教務部長 (坂部) 首席兼高等部主事 (三牧) 部主事 (内海・平水)

〈傍聴者〉 2名 (本校保護者)

年間テーマ及び協議事項 「明日も行きたくなる学校」をめざして

主な内容 ①校内施設見学 ②本校教員研修の取組みについて

③学校教育自己診断の実施について ④保護者用災害対応マニュアルについて

3 内 容

(1)はじめに

・校長あいさつ

1回目の学校運営協議会を経て学校運営を進めてきた。12月1日は学校祭で明日は併設校であるとりかい高等支援学校のとりかいフェスタが実施される。本日はそのリハーサルで児童生徒が鑑賞している。2学期を折り返す時期にさしかかり体調不良の児童生徒が出ている。

1回目の学校運営協議会では地震の事についての話があったが、防災について PTA とも協力して進めている。学校教育自己診断については教員一人ひとりが学校運営に関わっているかを評価する形にしている。協議をお願いしたい。

・会長あいさつ

ニュースでいじめの案件が41万件との報道があった。毎年約10万件ずつ増えている様子。増えているというよりは発見され、認知されている件数が増えているということで、見逃されるよりは良いことと捉えている。とはいえ、41万件もあることについては注目し、減らしていかなければならないと感じる。小学校が一番多く、支援学校も例外ではない。学校教育自己診断にもいじめの項目がある。ぜひ有意義な協議にしたい。

(2) 学校より報告および協議〔進行：会長 記録：教員〕

①校内施設見学

〔小学部： 2F図書室、図工室(1年図工) 1Fプレイルームと中庭 等〕

〔高等部： 1F視聴覚室(2年美術ライトアート)、3F展開教室(1年清掃) 等〕

〔中学部： 2F各教室授業見学(2年数学) 等〕

〔委員〕 図工の授業で一人ずつ足型をつける学習を行っていたが待ち時間が長いのが気になる。待つことも大事だが待っている間に何をするのかの提示があったほうが良い。高等部の清掃の

時間にあったように、前で生徒一名がホワイトボードに書いている間、教師が「みんなも考えてよ」という言葉かけがあった。ただ待つのではなく、考えたり、友だちが作っている姿をみることも大事。

教室環境に差がある。授業をする際は前の掲示物はないほうがいい。摂津市では当番表等の掲示物は後ろに掲示している。

[委員] 支援学校に限らず授業に集中させるため整理整頓は大事。

②本校教員研修の取組みについて

[教員] ・エピペン研修：エピペンとはアナフィラキシーショックが起こったときに使用する薬剤。

本校に1名対象の生徒がいるため実践を含めた研修を行った。

- ・自立活動研修：自立活動とは学習指導要領にある領域の一つであり教科においても自立活動の観点を持って授業を行うことが大切である。高槻支援学校から講師を招き2回研修を実施した。現役教員からの研修とあって実践に基づいた有意義な研修となった。
- ・教職員実技研修：授業に役立つ内容を実践している。8月1日に実施した労働安全委員会のコーヒードリップの研修についてはメンタルヘルスの観点からの研修。ソフトボール研修は暑さのため中止。
- ・捜索研修：危機管理のための研修で児童生徒の行方不明を想定し年3回実施している。
- ・初任者と10年目の教員の研修：初任者が先輩教員の授業を見学し授業に対する目標設定や思い、考えなどを聞く。
- ・公開授業週間：授業力向上のために年2回行っている。

[委員] 教員の異動は何パーセントか。在校年数はどれくらいか。

[校長] 4年で異動可能。初任者は6年までに異動。2校目以降は6年～10年で異動。摂津支援学校は開校5年なのであまり異動はなかった。一般的には教員の1割～1割5分が異動しているが全て正規教員ではないので一概には言えない。

[委員] 教員は特別支援学校の免許を持っているか。

[校長] 残念ながら保有率は低い。今年は支援学校の免許を取るための認定講習を受講する人数は増えた。今年の採用試験では、支援学校の免許を既に持っているか3年以内に免許をとることが支援学校で勤める条件となっている。文部科学省は平成32年度に100パーセントの保有をめざしている。東北は100パーセント保有している都道府県もあるようだが大阪は80パーセントに届いていない。

[委員] 本校はどれくらいか。

[校長] 大阪府の平均と同じくらいで80パーセントに届いていない。今年は職員会議で認定講習に行くように促したのと、今後は認定講習が有料になるかもしれないことを伝えている。校長会では府立に勤めている教員全員が特別支援学校の免許をとるようにとの発言があった。

[委員] 免許が全てとは思わないが。

[委員] 研修を熱心に取組まれていて評価できる。(いじめの研修を含む)

実際にいじめが起こった時にはいじめ対策委員会が開かれて検討すると思うが、いじめの案件が長引くと保護者から学校はどのように対応したか等問われることがある。いじめ対策委員会で検討したということが大切である。

[校長] いじめ対策委員会に校長は入っていない。

いじめと疑われる事案の発生→いじめ対策委員会の発足と検討→いじめ認定→拡大いじめ対策委員会(校長含む)にて対応検討。

いじめは増えているのではなく問題が大きくなる前に認知されるようになってきている。

[委員] 内容が同じでもいじめ対策委員会で検討しているということに意味がある。

[委員] 教員研修は法的に決められている。ぜひ成果を出してほしい。

[教員]・承認研修について

勤務を離れて受けることのできる研修で職免の対象となるので、児童生徒に還元できる適切な内容であるかを精査している。

計画書と報告書の提出義務があり公開請求できる。

《今年度》

小学部 11名（45名中） 発達検査の研修1名 実践交流会4名 歌唱やダンス8名

中学部 1名（38名中） 認知トレーニング←1月の伝達講習会で発表予定

高等部 4名（43名中） 障がい理解2名 歌唱指導2名

全校で16名

[委員] 承認研修は学校独自のものでなかなか理解されにくい。昔はいい加減なところもあったようだが今は計画や報告がきっちりされるようになってきている。

③学校教育自己診断の実施について

[教員] I 5月に府教委から通知された内容を転記している。

II (1) 府教委から通知されたものを転記

(2) 文言は少し変えているが項目は府教委の通知の通りにしている。

III 教職員には11月7日に周知、本日ご意見をいただいて保護者児童生徒に配付予定。

昨年度ご意見をいただいた通り保護者の回収状況を見て提出を促すかプリントを再配付するかは検討して進めていく。また、教員については先日の職員会議で校長より全員提出を呼びかけられている。昨年度のまとめでもあったように経年変化を見てきたが今年は質問内容を精査して作成しなおしている。昨年度までは前身であった吹田支援学校鳥飼校のものを基にして作ったものを5年間使用していた。生徒の実態も変わっているので府教委のモデルを参考に再構築した。

以下、昨年度からの変更点などを説明。

児童生徒イラスト版

小学部の対象者全員、中・高は適している生徒

5、いじめについては昨年度まではイラスト版になかったので追加。9、今年は自然災害が多かったこともあり追加。ただ避難訓練は5月9月共に雨天のため実施できていないのでどのように反映してくるかはわからない。12月が初めての避難訓練となる。昨年度まであった「友だちと仲よく遊んでいるか」は生徒用、教員用、保護者用に比較できるような項目がないため削除。

生徒用

府教委のモデルは2種あり、支援学校A（ふり仮名あり平易な文言）と支援学校B（振り仮名なし）の2種類から本校の生徒にあわせて文章を変更して作成している。9、文言が難しかったので分かりやすい文言に変更。8、「コンピューター」という表記を馴染みのある「パソコン、タブレット」に変更。24、保護者向けに部活動について聞いていたが生徒向けにも追加。その他、教職員・保護者・児童生徒を横断比較しやすいように変更している。

保護者用

全項目を通し番号にした。横断比較しやすいように整理。8、大阪府のモデルを参考に具体的

に明記。10, 11もモデルを参考に記載。毎年、「わからない」の欄がほしいというご意見が出るため表紙に記載している説明文に波線を引いてわからないときは空欄でいいということを知りやすくした。

教職員用

全項目を通し番号にした。

【教育活動に関するもの】は変更なし、【学校経営に関するもの】は校長の教員一人ひとりが学校運営に参画してほしいという思いをもとに文言を変えている。25、「～努めている。」27、「～行っている。」などに変更。40は新たに加えている。41、「職員会議」を削除している。職員会議の規則がこの文にそぐわなかったため。その他10項目程度、自分が主語になるよう作成している。

[委員] 網羅されていてすばらしい。この内容で問題が表出した場合組織としてどのように動くのか。

[校長] 昨年度の診断結果を持ってこればよかった。教頭・首席・部主事で検討し、結果についてはWebに掲載する。今後の改善の計画の策定は校長が行う。

今年の学校経営計画は授業力向上であるが、教頭・首席・部主事が対策チームとなっている。教員については学期に1回アンケートをとっている。その結果もあわせて第3回の学校運営協議会で結果と課題を提示したい。

[委員] 経験の浅い人は不安感を持っている可能性がある。この診断が一方通行になってしまっているいけない。意見を封じ込めようと思えばできる。

[校長] 結果は保護者に配付し、WEBにも掲載することになっているため封じ込めということはないようになっている。初任者の不安感には実際にあり、その解消には風通しの良い職場環境作りが大切である。

[委員] 仕組みとしては学校教育自己診断の結果を受けて学校経営計画を作成して学校運営を行い報告するという流れとなっている。

[校長] 1回目の学校運営協議会では学校経営計画を提示した。3回目ではその結果を出すよう努力するが2月に開催されるため提示できるかは分からない。

[委員] 学校教育自己診断で出た課題を、次年度の学校経営計画でどのように改善し学校運営していくのかを盛り込む。できれば第3回の学校運営協議会で出してほしい。

[委員] 学校運営協議会を3月にずらしては。

[校長] 11月に学校教育自己診断を実施して結果を集計し、2月に学校経営計画に載せることはスパンが短く難しい面があるため検討すべきとは思っている。

[委員] 摂津市では3月に校長が集まり、発表する機会を設けている。

[校長] 3月は忙しいが検討する。

[委員] 経年変化を見るのも良いが、5年経っているので変えているのは良いこと。この形でまた3年～5年続けると良い。教員用の40はモデルにあるのかどうか分からないが少し違和感がある。自分の意見を発信しているかという自分に対する評価は学校教育自己診断の意味あいからはずれる。

[校長] 質問の文言は学校に任されている。学校経営は管理職が勝手にやっているという感覚が教職員にはある。みんなに参画してほしいという思いがある。自己分析の質問はこの自己診断しかない。学期に1回の教員向けアンケートは客観的な質問になっている。

[委員] 他の質問は客観的なので主観的な内容をこの自己診断の中に入れるのはどうなのかと思う。

[委員] 具体的で良くなった。結果が楽しみである。22の校長の「リーダーシップ」についても具体的になっていて良い。

④保護者用災害対応マニュアルについて

[教員] 教職員用のものに加えて保護者用を作成し配付した。

6月の地震の時に自主通学生が混乱したことを受け、「たすけてカード」を作成した。まわりの大人に助けてもらうことが趣旨。p 5, 6は災害用伝言ダイヤル等の情報提供。

すぐメールについては年度当初に案内している。

登録状況 保護者 小96% 中88% 高79%

教員 小82% 中53% 高84%

[委員] 「たすけてカード」は学校の電話番号のみ載っているが、実際の地震のとき電話は通じなかった。メールアドレスを載せたほうがよい。

[教員] 検討する。

[委員] 「たすけてカード」に色はついているか。できれば色を付けて分かりやすくする。

災害時とあるが発作などのときにも活用できると良い。

[教員] 災害時以外でも困ったときに周りの大人に助けてもらうように指導している。

[委員] もう配付済みか。

[教員] 配付済み。

[委員] 吹田支援学校にはイラスト入りと文字だけのものと2種類あった。これが「たすけてカード」と分かりやすいようにイラスト入りがあっても良い。

[委員] すぐメールの登録について、教員が50%とは。安心安全に関わることなので100%であるべき。とても残念である。強制的にできないものか。

[校長] もともとはバスの遅延の連絡として活用していたので教員の登録数は少なく、地震前よりも少なかった。今後は登録をお願いしていく。

[委員] 会社では100%登録している。安心安全は組織の根幹となるものなので登録者数は増やすべき。

[委員] その通り。

(3) まとめ

[委員] 施設見学もあり有意義な会となった。ご意見は今後へ活かしていただき教育活動をすすめてほしい。

[校長] すぐメールについては明日にでも教職員に呼びかけたい。授業改善についてのご意見（待ち時間・環境整備）は10年前から言われていることで、一つずつやっていきたい。

第3回では次年度の学校経営計画及び学校教育自己診断の結果報告をすべく努める。

(4) 事務局より諸連絡

[教員] 配付している資料の番号が前後して申し訳なかった。次回は、例年2月中旬に行っているが時期がずれ込むかもしれない。今までは電話にて日程調整していたがメールで連絡する。

本日はありがとうございました。

【配付資料一覧】

①②次第・学校運営協議会名簿 ③学校教育自己診断資料

④本校教員研修の取組みについての資料

⑤地震・津波発生時対応マニュアル（保護者用）